

子どもの「自分らしさ」と 「生きにくさ」をめぐって

10.3 (金)

12:30~14:55



奈良県社会福祉総合センター5階研修室B-C
橿原市大久保町320-11
(近鉄電車「畝傍御陵前」駅東出口より徒歩3分)



司会・進行
問題提起

林 郷子 氏



乳幼児の発達障がい
と支援について

狗巻 修司 氏



中学生から増える不
登校と、思春期の発
達障がいについて

飯田 順三 氏



大和郡山市立 郡山北小
学校・郡山中学校
分教室「ASU」活動紹介

奥山 志帆 氏

お申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。8月20日

料 金
(お一人様/税込)

一般 5,000円、橿原市民(特別①) 1,000円、学生(特別②) 無料

10月3日の分科会及び10月4日の全大会にご参加いただけます。交流会・エクスカージョンは別途あり。
※特別①は先着400名まで、特別②は先着200名に加えて橿原市内在住・在学の学生の先着300名まで適用。

日本女性会議2025橿原

日本国はじまりの地から未来へ
～多様性を認め合う社会の実現を～

10月3日(金) 分科会・交流会
10月4日(土) 全体会
10月5日(日) かしはら未来会議
10月3～5日 エクスカージョン



詳細・お申込は公式HPへ
日本女性会議2025橿原実行委員会
主催 日本女性会議2025橿原実行委員会 / 橿原市
後援 文部科学省、奈良県
橿原市教育委員会、橿原市議会

子ども分科会の
お問合せは、
ハナまなへ↓



10.3(金)

子ども分科会 (12:30~14:55)

[テーマ] 子どもの「自分らしさ」と
「生きにくさ」をめぐって

「生きにくさ」を抱えている子どもたちが、「自分らしさ」を失わずに生き生きと社会とつながっていくには、どのような支援のあり方が望ましいのでしょうか。「不登校」と「発達障害」を手がかりとして、考えてみたいと思います。

司会・進行・問題提起 林 郷子氏より

林 郷子氏

奈良大学社会学部
心理学教授



専門は児童思春期心理臨床、教育臨床心理学。
子どものいわゆる「問題行動」とされるものは、子どもと周囲の環境や他者との相互作用のもとに提示されるものと考え、彼らが何を私たちに提示しようとしているのか、その意味と向き合うことを大切にして心理臨床を行っている。

狗巻 修司氏

奈良女子大学文学部
准教授



専門領域は発達心理学、主に乳幼児期や自閉スペクトラム症をもつ幼児・児童のコミュニケーション能力の発達の变化について研究をしている。近年では自閉スペクトラム症にみられる「こだわり」の変容過程とコミュニケーション能力の発達との関連について研究を進めている。

飯田 順三氏

奈良県立医科大学名誉教授
医療法人南風会万葉クリニック
子どものこころセンター絆
センター長



児童精神科医。学生時代より自閉症や不登校に関心を持ち、奈良県立医科大学卒業後、同大学精神医学講座に入局。児童精神医学領域を専門として、同大学精神医学講座助教授を経て、同大学看護学科教授、看護学科長を経て定年退官後現職となる。学会では日本児童青年精神医学会元理事長、日本子どものこころ専門医機構副理事長、日本ADHD学会理事である。

奥山 志帆氏

大和郡山市立
郡山北小学校・郡山中学校
分教室「ASU」主任



郡山北小学校・郡山中学校分教室「ASU」は、学びの多様化学校、不登校特例校として不登校状態の児童・生徒に対して、「心の居場所づくり」を大切にしている。適切な指導のもとその心理的な不安などの改善に努め、社会的な自立を支援し教育の機会を提供することを目的として教育活動を行っている。

日本女性会議2025橿原

日本国はじまりの地から未来へ
～多様性を認め合う社会の実現を～

10月3日(金) 分科会・交流会
10月4日(土) 全体会
10月5日(日) かしはら未来会議
10月3～5日 エクスカーション

詳細・お申込は公式HPへ
日本女性会議2025橿原実行委員会/橿原市



日本女性会議
2025橿原



0744-21-1090



「子ども」分科会担当 ハナまな
橿原市男女共同参画推進団体

子ども分科会
のお問合せ



こども向けイベント
7月21日開催